

児童発達支援 ケアワーカーズいぶきまっず 自己評価表

R3年8月 合同会社ケアワーカーズいぶきまっず

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 集団活動を行うにあたり、支障なし。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 適切である。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | 飲食店跡を借用した事業所のため、完全なバリアフリーとは言い難い。今までのご利用者様では問題はなかったが、昨今の利用者層の変化を鑑み、段差の高低差を軽減する対策を現在施工準備中。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 支援前には、個々の計画に対する目標の確認、支援後の振り返りで次回利用時の対応策を検討している。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケート結果の分析を行い、社内で業務改善につながるよう定例ミーティングを実施。 |
| | 6 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | リタリコに掲載 自社HPに掲載 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 今後の検討課題としたい |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | スタッフミーティングを定例で実施し、資質向上に努めている。また、強度行動障害研修への職員派遣等を行い、スタッフのスキルや資質の向上を務めている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 適時アセスメントを行い、課題分析をしたうえで、個別支援計画書の作成を行っている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 実施はしているが、標準化までは至らないため、今後の検討課題としたい |
| | 11 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | | 個別支援計画立案時に、保護者様と面談を行い、その際に計画のすり合わせを実施している。また、ご要望等あった際には、計画書へ落とし込み、具体的な支援を行っている。 |
| | 12 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | 受け入れ前のミーティングにて、個々の課題を確認し、計画に沿った支援を実施している。 |
| | 13 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | スタッフ全員でプログラムの立案を行っている。プログラムに必ず「目的」を持たせるよう、意識して行っている。 |
| | 14 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 活動レポーターをジャンル分けし、固定化しないよう、プログラムを構成しているが、天候等により予定したプログラムが行えないこともある。その際の代替案も固定化しない検討も必要と考える。 |
| | 15 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 集団・個別の目標を組み合わせで計画立案している。 |

児童発達支援 ケアワーカーズいぶきまっず 自己評価表

R3年8月 合同会社ケアワーカーズいぶきまっず

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------------------------------|---|---|----|---------------|---|---|
| | 16 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 支援開始前にスタッフミーティングを行い、支援内容や前回ご利用時の様子、その子の課題、スタッフの役割分担などを確認している。 |
| | 17 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 支援後はミーティングを行い、支援の振り返りを実施。気づきを共有し、次回の支援へつなげられるよう、記録している。 |
| | 18 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 支援後のミーティング内容を踏まえ、記録を行い、次回の支援時の対応方法などを検討している。 |
| | 19 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 適時モニタリングを実施し、計画書の見直しを実施している。 |
| 関係機 や保 護者 との 連 携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児童発達支援管理責任者やかかわりの多いスタッフが参画している。 |
| | 21 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | | 適時実施している。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | ○ | | 医療的ケアが必要な子の実績なし。 |
| | 23 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 医療的ケアが必要な子の実績なし。 |
| | 24 | 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 適時、関係機関との情報共有は実施している。 |
| | 25 | 小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 適時、関係機関との情報共有は実施している。 |
| | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 適時、関係機関との連携は実施している。 |
| | 27 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 現在はそのようなニーズもないため、積極的な交流の場を設けてはいない。今後の検討課題としたい |
| | 28 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 市主催のミーティングに参加し、適時提言や情報交換・情報共有等を行っている。 |
| | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時や支援システム等を活用し、課題に対しどのような様子だったか適時発信している。 |
| 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか | ○ | | | モニタリングや面談等の機会です時実施している | |
| 31 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に説明を実施 | |
| 32 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | | 計画立案時に、保護者様へ計画内容の説明を行い、内容を精査いただき、同意の署名を頂戴している | |

児童発達支援 ケアワーカーズいぶきまっず 自己評価表

R3年8月 合同会社ケアワーカーズいぶきまっず

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 適時実施している。 |
| | 34 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | 保護者会は存在しないが、親子イベント等を通して、保護者同士のつながりが取れるよう、今後検討していきたい。 |
| | 35 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 保護者からの相談は適時、児童発達管理責任者が対応している。場合によっては、相談支援事業所とも連携して対応している。 |
| | 36 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 支援システム導入により、日々の活動の様子や事業所との連絡が容易にできるような仕組みができています。 |
| | 37 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | | 十分注意して管理している。 |
| | 38 | 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | お子さんとの意思疎通については、支援の中で有益な方法を模索しながら、適時対応している。 保護者様との情報伝達は、システムの活用によるブログの発信やEmail、保護者とスタッフ間の掲示板機能などを活用し、情報共有を図っている。 |
| | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 地域住民を招待するようなイベントはないが、地域の方々との交流をもって、本事業に対しご理解をいただけるよう、努めている。 |
| 非常時等の対応 | 40 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | | ○ | | 昨今、新型コロナ等のさまざまな対応もあり、マニュアルの再検討の必要があります。従いまして、確実な周知・説明までは至っていないと考えます。早急にマニュアルの再構築を実施し、公開する。 |
| | 41 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 不定期になるが、避難訓練の実施、災害についての啓発活動を実施している。 |
| | 42 | 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | | アセスメント時に確認している。 |
| | 43 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | ご家族から食物アレルギーのヒヤリングを行い、提供時に確認している。 |
| | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | ヒヤリハットの事例集を作成し、全体ミーティング時に共有している。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 毎月行われる全体ミーティング等で、定期的に研修会の場を設けている。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | | ご家族同意を得て、対応している。 |